



毛野小学校だより
第12号
令和元年
10月11日



〇 〇 〇 . . の 秋

朝晩秋らしくなってきました。本格的に〇〇の秋がやってきそうです。この秋は、ご家庭では、どんな秋にしますか？秋の夜長にお子様とじっくり、秋の過ごし方をいろいろ話し合ってください。

朝礼の話より

10月2日(水)の朝礼で次の様な話をしました。毛野小のみなさんが友だちを大切に仲良く生活して欲しいと願っています。

「人生で一番大切な事は何ですか？」

おはようございます。

今日は、みなさんに聞いてみたいことがあります。

「人生で一番大切なことは、何でしょう。」あと70年、80年生きていく中で一番大切なことです。

それが「論語」という本の中にあります。論語というのは、中国の孔子という先生が言ったことばをまとめた本です。

4年生は、朝の会の時に「論語」を読んでいますね。そして、「足利学校」に行っ
て論語の勉強をしますね。5,6年生も4年生のときに勉強したのを覚えていますか？

今日は、その中の一つの論語を読みます。

論語の中では、次の様に言っています。それでは、読みます。

子^し貢^{こう}問^いて曰^{いわ}く、「一^{いち}言^{げん}にして以^もて終^{しゅう}身^{しん}之^{これ}を行^なうべき者^{もの}有^ありやと。」

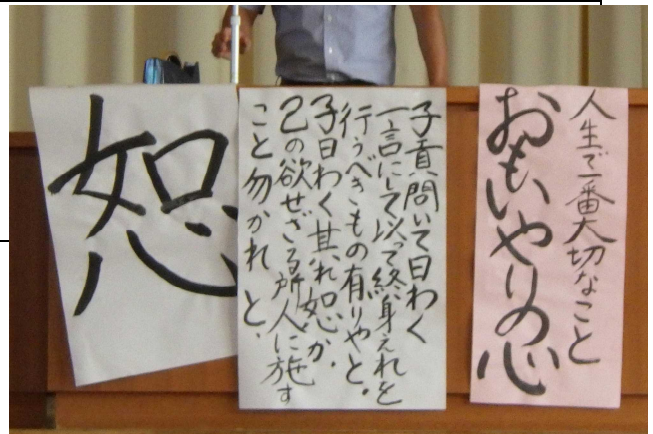
子曰^いく、「それ^{しよ}恕^{じよ}か。己^{おの}れ^れの欲^{ほつ}せざる所^{ところ}、人^{ひと}に施^ほすことなかれ。と」

(意味) 子貢という生徒が孔子先生に聞きました。「人生で一番大切なことを一言でいうと何ですか？」孔子が言いました。それは、「思いやりの心」ですよ。「自分がして欲しくないことを友だちにははいけませんよ。」

人生で一番大切なことは、「思いやりの心」であると、孔子先生は言っています。

皆さんも、「自分がされていやなことは、

友だちにはしない」という恕^{じよ}の気持ち、「思いやりの心」をもって生活してください。



☆6年生 きらきら号 (薬物乱用防止授業)

10月3日(木)に6年生を対象に薬物の恐ろしさを学ぶ授業が行われました。県内でも未成年が検挙されるなど、その広がりや怖さを知ることができました。「絶対にダメである」という意識を早いうちに定着させたいと思います。



4年生 点字教室

10月3日(木)に4年生を対象に国語や総合的な学習でもある点字教室体験が行われました。まず、視覚障害者の須藤会長(あいの会)のお話を4年生全員でお聞きしました。その後、クラスごとに「あいの会」の皆様の指導で点字教室が開催されました。点字の打ち方を学び、自分の名前を打つなど、点字について学習することができました。



【須藤会長：さわってお札がわかります】



【あいの会指導：点字を打っています】

3年生 しょうゆ出前教室

醤油物知り博士の大島先生の指導により10月3日(木)に実施されました。国語の説明文「すがたを変える大豆」の学習の一つでもあります。子ども達は大豆からしょうゆが出来るまでの過程を学びました。歓声をあげながら、しょうゆになるまでの3種類の味見をしていました。



「しょっぱい!」
と言いながら、何回も味わいました。



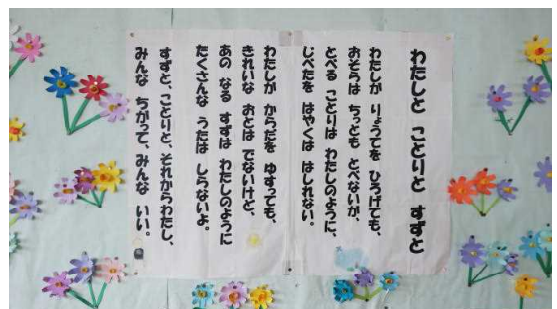
【東昇降口掲示：理科コーナー】



☆ホームページで「共励」のカラー版も見られます。
☆スマートフォンにも対応しています。



【保健室前：目に関する掲示】



【東昇降口掲示】